

INTERVIEW



インタビュー…デヴィ・スカルノ

日本人の「歯」への意識・知識を 向上させ、口内全体をケアする！

鈴木 真幸さん

医療法人社団 やすらぎ/やすらぎデンタルクリニック
理事長・院長

**医療法人化、新規設備投資で
さらにパワーアップ！**

デヴィ これらのクリニックは、今度、医療法人に変わったところがありました。

鈴木 はい。規制緩和による法改正で、法人にするメリットが増えたので、この8月から医療法人として新たなスタートを切りました。

デヴィ 税制面でも優遇されるのではないですか？

鈴木 そういう面もあります。当クリニックは電子カルテなど、新しい技術を積極的に導入しておりまして、そうした新規の設備投資にも役立てられ、患者さんへ還元できることがうれしいですね。

デヴィ 電子カルテとおっしゃると？

鈴木 完全ペーパーレスのカルテです。この治療台に付いているモニターで、患者さんのカルテを見ることができます。保管するスペースや、

それを探しに行く人材、時間や手間が大幅に削減できます。

デヴィ それは便利ですね。

鈴木 またレントゲンを撮った際、オンラインでデータが映し出されますので、フィルム・レスになり、時間も短縮できます。経費的なこともさることながら、X線の照射量が約半分で済みますので、人体にも非常に優しいということです。さらに小さなお子さんが来られた際に、テレビモニターにもなりますので、恐怖感を感じさせないというメリットもあります。

デヴィ それはとても良いことですね。ところで日本人は、欧米に比べますと歯に関する意識や知識はとて

も低いように思えますが。

鈴木 おっしゃる通りです。知人のアメリカ人の方に「なぜ日本人の多くは歯が悪いのか？」と聞かれたことがあります。確かに歯周病や虫歯は欧米に比べると多いという調査結果もあります。

【医院】

〒430-0851

静岡県浜松市向宿1-21-16

やすらぎメディカルセンター3F

TEL. 053-467-0933

FAX. 053-467-0934

URL. <http://yasuragi.nanka.ne.jp>



デヴィ 欧米人はとにかく歯のケアを、本当にマメにしますよね。歯石取りにしましても、平均で3カ月に1回はするでしょう。

歯を大切に！「口は第二の心臓」

鈴木 食べカスや食べ残しが歯垢を作り、歯垢がたまって蓄積すると歯石になってしまいます。朝・晩は歯磨きをする方は多いと思いますが、昼食後もぜひ施行していただきたいと思えますね。

デヴィ 私自身も一日5回歯を磨きます。子どもたちにもそうした教育が大切だと思います。小学校などで給食後の歯磨きを義務づければよろ

しいのではないのでしょうか。

鈴木 日本人には、食事に出かける際に歯ブラシを持参する方は少ないですね。ですがこの近所に、化粧室に「ご自由にどうぞ」の歯ブラシが設置されているユニークなレストランがあります。徐々にですが、そういう習慣をつけていくと良いですね。

デヴィ それは珍しいレストランですね。

鈴木 「口は第二の心臓」と言われています。食べ物を食べる時の「咀嚼（そしゃく）」をたくさんすることによって顎の骨や関節が強化され、血行促進によって血液が脳へ行き、老人性痴呆症の予防にも役立ちます。また、消化・吸収を助け、内臓への負担も軽減してくれるのです。

デヴィ そのお話はとても重要だと思います。肉なども60回ぐらい噛むと良いと聞いたことがあります。良く噛むことによつて食べる量も少量で済むようになり、ダイエットに効果を発揮するケースもあると聞きます。

鈴木 ある高齢の患者さんが、入院時に入れ歯をはずして生活したとたん、痴呆症になってしまった例ですとか、逆に、痴呆症の患者さんに入れ歯を入れて、食べ物を食べさせたとたん脳が働き始めたという報告があります。

デヴィ それが「第二の心臓」と言われる所以ですね。歯は大切にしな



いとイケないと言うことですね。こちらのクリニックは、口腔外科を標榜されていますが、それについてご説明いただけますか。

鈴木 はい。口の中というのは、歯だけではなく、歯ぐきや舌、頬の粘膜などいろいろな部位で構成されています。通常の歯科医ですと歯にかみが行かず、口内の炎症などを見逃しがちですが、口腔外科というのは口全体を診断・治療するものなのです。口内炎と違っていた炎症が、実はガンだったというケースもあります。

デヴィ こちらのクリニックは、入口もスロープになっておりますし、

ひとこと通信

—会社プロフィール—

業務内容：歯科医院。口腔外科の技術で口の中全般をケア。

セールスポイント：勤務医時代は、浜松医大で年間100例近くの口腔外科手術に立ち合い、技術に裏打ちされたクリニックです。



車椅子で来られた患者さんにも優しいバリアフリーですね。今後どのような展開を図っていくか教えてください。

鈴木 ここに来られる患者さんは、何らかの形で口の中をわずらって来られますので、その痛みや苦痛から少しでも早く解放してあげられるようにと、「やすらぎデンタルクリニック」と命名しました。患者さんの目線に立った現状のスタンスを変えることなく、さらなる「やすらぎ」の提供ができたらと思っております。

デヴィ これからもがんばってください。